

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<p>・毎月の4部長会や専門部会、運営委員会が定着し、学校の課題を共有したり、学校目標達成に向けた取組について検討・実践したりすることができた。次年度も、児童の課題や達成目標を可視化しつつ、全職員で方向性をそろえ、PDCAサイクルのもと具体的目標の達成を目指していく。</p> <p>・「学校・学級の一員として役に立っている」と回答した児童が95%となり、年々達成率が上がり、児童の自己有用感の向上が見られている。一方、「相手のことを考えた、挨拶・返事・言葉遣いができているか」の項目に関しては、目標達成に至らず、学校目標である「温もり」ある学校にするために、相手を思いやる心の育成に取り組んでいきたい。</p> <p>・保護者アンケート等において、多くの感謝と激励の言葉をいただいた。これを励みに、次年度もよりよい学校運営に努めていきたい。また、改善を求める意見については真摯に受け止め、解決策を検討しながら取り組んでいく。</p>
------------------	---

2 学校教育目標	<p><b>自分から かんがえ すなおに がんばる 春日っ子の育成 ～温もり～</b></p>
----------	---

3 本年度の重点目標	<p>① 児童が「話したい」「聞きたい」と主体的に学びに向かい、考えが広がったり深まったりする喜びを感じる授業づくりに努め、生きる力の育成と学力の向上を目指す。</p> <p>② 周囲の人やものを大切にできる温もりのある学級・学校づくりを目指す。</p> <p>③ 目標に向かって失敗を恐れずあきらまないでチャレンジするたくましい心と体をもつ児童を育成する。</p> <p>④ 家庭・地域との連携を図り、安全に安心して生き生きと活動できる学校づくりを進める。</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	○「自分の考えを伝えたり、聞いたりすることが楽しい」と回答した児童80%以上	・児童が伝え合うことを楽しいと感じ、その良さを思い出したりすることができるような言語活動を仕組んだ授業に取り組む。 ・スピーチタイムなど思いや考えを伝え合う場を多く設定する。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「相手のことを考えた、挨拶・返事・言葉づかいができる」との項目で、「できていない/たいていできていない」と回答した児童・保護者・教師の割合90%以上	・生徒指導協議会で全校児童の状況を共通理解し、全職員で手立てについて考え、共通した指導を行う。 ・児童による委員会(生活委員会や温もり委員会など)と連携しながら進める。 ・職員・児童による「きりぎり発見活動」 ・月ごとに生活のめあてを決め、全校で意識的に行う。							生活指導部
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「いじめをされたり見たりした時に、周りの人によく相談できる」の項目で、「できる/だいたいできる」と回答した児童の割合90%以上、また「できない/かもしない/できない」と回答した児童には、聞き取り等の対応を行う。 ○「学校生活を楽しくしている・学校はいじめ防止に取り組んでいる」の項目で、「そう思う・ややそう思う」と回答した保護者の割合	・「いじめ/いのちを考える日」の取組の充実 ・「Q&Aアンケート」や「すっきりニコニコアンケート」を実施し、児童理解を行う。実施後は早期にヒアリングを行い、いじめの早期発見・早期対応を行う。 ・保護者の相談に迅速に対応する。 ・レインボー作戦のポスターを各学級に掲示し、日ごろから授業などの時間を使って活用し、子どもたちに意識付けできるようにする。							生活指導部
●健康・体づくり	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・児童生徒の資力・能力を育む授業づくりに関する情報共有 ・各種体験活動では、児童生徒に活動の見通しと学びの振り返りを行う活動を仕組む。 ・授業だけでなく、教育活動全体で夢や未来を見据えた取り組みの実施							特別活動部
	●「運動習慣の改善や定着化」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間でも420分以上の児童生徒60%以上 ●「健康に良い食事をしている」児童生徒80%以上	・学校全体でスポーツチャレンジに取り組む運動やスポーツの楽しさを味わう機会を増やす。 ・ボール等の遊び道具の配布、点検をすることで、運動にいつでも安心して親しめる環境を整える。 ・給食指導や、食育に関する授業の中で、食事は大切であるという意識を高める。							保健安全部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○性教育を中心とした、ジェンダー教育への意識の向上	○「ジェンダー教育に対する意識が高まった。」と感じる職員80%以上	・「性に関する指導計画」を基に、発達段階に応じた性に関する授業を2本以上行う。							保健安全部
	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・繁忙期等を鑑み、日々の目標達成時間を設定し、時間を意識した働き方を行う。 ・会議の精選と資料のデジタル化等の業務効率化、業務削減を図り、業務改善を推進する。							管理職
●特別支援教育の充実	○職員のやりがいが高まる業務改善案の策定と共通理解・共通実践	○「働きがいを感じる」について肯定的な回答をした職員85%以上	・運営委員会、専門部会等で改善案を検討し、チーム意識を向上する。 ・職員会議、連絡会等で共通理解をし、共通実践を行う。							教頭・主幹教諭・教務主任・専門部長・学年主任
	○特別支援教育に関する教育の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する専門性が向上したと回答した教員90%以上	・特別支援教育に関する研修会の実施 ・ケース会議の開催、関係者間での情報共有							生活指導部
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
◎児童の自己有用感の向上	◎児童が、本校の一員として目標を持ち、その実現に向けて、意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「学校・学級の一員として役に立っている」について肯定的な回答をした児童80%以上	・各活動の目標の共通理解とその支援 ・各種体験活動における活動の見通しと学びの振り返り(児童一人一人の役割と承認) ・児童及び職員による「きりぎり発見活動」							
○家庭学習の習慣化	○各学年の目標時間を意識した家庭学習の定着	○家庭学習の各学年の目標時間を達成できたと肯定的に回答する児童80%以上	・「家庭学習がんばり週間」の計画シートを活用し、それぞれの計画を立ててから実施する。またその振り返りをさせ、結果を児童や家庭、全職員で共有する。 ・「家庭学習がんばり週間」の結果の共有や親子での振り返り等家庭とも連携し、達成に向けて学校と家庭の両方からアプローチしていく。							学習指導部

5 総合評価・ 次年度への展望	<p>●…果共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育</p>
--------------------	----------------------------------